

# 産地パワーアップ事業の取組事例(29年度:新地町地域農業再生協議会)(福島県)

## 取組の概要

計画作成主体 : 新地町地域農業再生協議会  
対象品目 : 大豆(産地面積30ha)  
主な取組主体 : 有限会社恵みのファーム  
成果目標 : 生産コストの10%以上の削減  
基準(H28年度) 22,119円/60kg  
目標(H31年度) 19,848円/60kg  
導入施設等 : 生産支援事業(機械リース)  
(コンバイン、溝堀機、レーザーレベラー 各1台)



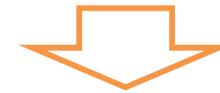
福島県  
新地町  
谷地小屋・杉目地区

## ポイント

### 【取組の主題(テーマ)または課題】

当産地の大豆は、実需者や市場からの引き合いは多いものの、刈り遅れや湿害による品質や収量の低下が課題である。

このため、規模拡大する担い手に対し、適期刈取及び排水対策に必要な機械の導入を支援し、品質や収量の向上と効率的な作業体系への転換を図ることで、生産コストの削減及び市場への供給力の強化を目指す。



### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①大規模経営に適した低コスト生産及び排水対策に必要な機械のリース導入支援
- ②農地集積による規模拡大

## 推進体制

・相双農林事務所(県)  
・新地町  
・JAふくしま未来

新地町地域農業再生協議会  
①計画の策定・管理  
②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)  
・行政機関(県、町)及び農協によるサポート体制

有限会社恵みのファーム  
①取組計画の作成  
②取組実施等

## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- ・津波被災を受けた水田の復旧に合わせ、担い手への農地集積。
- ・担い手への農作業及び機械の集約化を図り、省力・低コスト化を推進。

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

- ①適期刈取や排水対策による収量や品質向上
- ②規模拡大による作業効率の改善
- ③リース導入支援による初期投資の節減効果

### 【事業実施による間接効果】

- ①担い手の作付面積拡大による、生産量増加と品質の高位均一化
- ②品質の高位均一化により、引き合いがさらに強まり、販売単価が上昇



生産コストを  
23%削減  
(達成率224%)

22,119円/60kg 17,024円/60kg

目標値  
19,848円/60kg

H28  
(基準年)

R3  
(達成年)

実績値(生産コスト)